

令和6年度 学校関係者評価報告書

学校法人森本学園 琴似中央幼稚園

1. 本園の教育目標

- ①明るく元気なこども
- ②よく考え工夫するこども
- ③思いやりのあるやさしいこども
- ④友だちとなかよく、きまりをまもるこども
- ⑤最後までがんばるこども

2. 本年度重点的に取り組む目標・評価

- ・本園の教育目標の共通理解を深め、一人一人の幼児を大切にされた教育の実践を目指す。
- ・園児の安全管理に十分配慮する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目		取り組み状況
1	教育課程を見直し改善を図る	A	教育課程のねらい内容を見直し、教職員が幼児の姿や遊びの記録を具体的にとり反省を重ね見直していく。
2	教師としての資質や保育の向上	B	幼児の姿を観察し、学年に合わせた計画を策定するように心掛けた。教職員で、幼児の細かい情報交換をし共有して業務に活用していく。
3	感染症対策と保護者対応	B	感染症対策について、職員間の共通認識を図り、話し合いを行った。行事は感染症対策を十分行い、参加人数を規制しながら、例年の行事をほぼ行えた。保護者にも子ども達の成長した姿を見てもらえた。

A-十分に成果があった。B-成果があった。C-少し成果があった。D-成果なかった。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	全職員が自己点検、自己評価に取り組むことで、自らの保育を振り返ることができた。見つかった課題について重点的に取り組む必要がある。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	指導計画	コロナ禍後における子供の安全を考慮した計画遂行。
2	安全管理	衛生面、遊具等の危険箇所など、職員間で共通理解を深めるため、話し合いの機会を増やし、マニュアルの改善を図る。
3	保護者との連携	定期的な情報発信を行い、子ども達の成長を共に見守る。感染症対策をとりながら、引き続き行事の見直しや改善に努める。

6. 学校関係者の評価

所有地内の農園など教育的な自然環境に恵まれ、それらを生かした保育が子ども達の心身の発達にとっても良い影響を与えていると思う。先生方はよく連携がとれていて、担当クラスだけでなく、様々な場面において他クラスの子どものことも把握しているが、職員が不足しているように感じられたので、職員確保に努めていただきたい。コロナは過ぎたが今後も感染対策をとりながら、子ども達が楽しめる活動を多く取り入れていただきたい。

学校関係者評価委員 中村 衣久美
委員会実施日 令和7年 2月 17日